

人間文化研究機構の連携研究「アジアにおける自然と文化の重層的関係の歴史的解明」が平成22年度からはじまった。この研究に参画した研究者仲間との情報交換と、研究の進展を相互に共有するための連絡誌『人と自然』を発刊することとした。各号には特集と連載を組み、自然と文化との多様な関わりを自由かつ大胆に論じることをねらいとした。創刊号の特集は「火」、2号は「音」、3号は「虫」、4号は「天」、5号は「色」、6号は「花」、7号は「香」である。引き続き、皆さま方から本誌への御意見、コメントをお願いしたい。

研究代表：阿部健一（総合地球環境学研究所）

目次  
CONTENTS

特集 風をめぐる人と自然  
文化の中の風

2

局地風と人びと

吉野正敏

6

【コラム】海と天をつなぐ風

秋道智彌

7

和歌における風

寺島恒世

11

風の名前と民俗

安室 知

15

【コラム】風をめぐるコトバ

新田哲夫

16

鳴長明と風—「方丈記」の風より

浅見和彦

22

異常気象と地球を巡る風の異変

山形俊男

連載

24

資料紹介⑦◎春日懐紙の風

田中大士

26

都市の中の自然と文化⑧◎乏しき時代に何のための花か

鞍田 崇

フィールド報告

28

海外◎ヤップ島の道—島というフィールド

阿部健一

30

国内◎下甕島における人間界と異界のつながり

—来訪神行事「トシドン」の調査

マイケル・デイラン・フォスター

表表紙（右）葛飾北斎「富嶽三十六景 駿河江尻」（部分）

山口県立萩美術館・浦上記念館蔵

（左）滋賀県「東近江大風まつり」

撮影：レノ・ヴェルニエ

裏表紙 「風の神」（『桃山人夜話』桃山人 文、竹原春泉斎 画）

川崎市市民ミュージアム蔵